

事業者向けアンケート集計結果

放課後等デイサービス自己評価表

スタッフ各位

配布日 7月18日～ 回収締切 7月28日

「はい」「いいえ」などにチェックするだけでなく、各項目について「課題は何か」「工夫している点」などについても記入ください

放課後等デイサービス ぴあねっと/NPO法人 旅とびあ北海道 2017/9/20

<回収率 100%、回答数字は%表示>

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	78	22		現在の通所人数対スペースでは適切な支援が取れているが、月に1~2回はおびつた体育館や公園などの施設外活動を実施
	②	職員の配置数は適切であるか	78	22		可能な限り職員増での対応ができています
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100			施設内バリアフリーのほか、危険なものは整理整頓している
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画	67	33		業務改善にはさらに職員からの意見を吸い上げる
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	67	33		保護者の意向等は必要に応じ、コミュニケーションを図っているが、書面による評価アンケートは今回が初めて。今後の改善につなげていく
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	78	22		直接保護者には書面にて報告。会報・HPは近日掲載予定
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	56	44		年1回位はこのようなアンケートを実施し、第三者による外部評価にも反映し、改善につなげる
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	78	22		シフトの調整をつけ、可能な限り研修に参加している
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100			平均的には6か月ごとに行い、計画の見直し・変更等に反映しての作成
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		100		既に医療機関、児相などで多くの検査がなされているため
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	78	22		月に1~2回、会議及び必要に応じ会合にて実施している
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	78	22		四季折々に配慮した内容のほか、外部ボランティアの協力を得て、活動内容のメリハリを付けている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	67	33		特に学校の休日や長期休暇時には、特別な体験型プログラムを用意し、屋内外での活動を企画している
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	56	44		グループ活動が苦手な子どもが多いが、個別の得意分野のものを毎回取り入れ、参加欲を引き出せる内容の計画作成
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	78	11	11	送迎のシフトにより全員参加が無理な場合には、個別に申し送りをする
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	78	11	11	支援終了後、必要な内容については随時、情報の共有を行っている
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	44	44	12	記録者によりバラつきがあるので、何について記録するのか、年に2回程度は研鑽に心がけている。記録が個別支援に対して明確であるよう、改善につなげる
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	89	11		最低でも6か月に一度、学校、親御さん、スタッフとのミーティングなどにより本人状況を共有し、計画の見直しを実施	
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	22	67	11	適切な支援と質の向上に日々、努力している	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	78	11	11	自発管のほか可能な限り従事者も出席するよう努めている
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	67	33		送迎時に学校と情報交換・共有を行っている。下校時刻の確認が不十分な場合、再度家庭や学校に連絡することがある
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	44	44	12	連絡体制は整えているが、医療的ケアが必要な子どもは開設以来利用はない
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	11	78	11	情報共有のできている子と、そうでない子がいる
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	56	44		可能な限り情報を提供している
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	44	44	12	講師を招いたり、個別に研修を受けるなどで助言をもらうこともある
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	78	22		月1回程度開催の子ども食堂で、健常者とのかわりの場を設けている
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	22	78		営業日の開催が多く、消極的参加となっているので、今後は参加の方向で、検討していく
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	54	36		毎回連絡ノートで状況を伝えるほか、送迎時や家族不在の場合は電話等で伝える
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	56	22	22	障がいに対しての理解が甘えにつながることもあるので、客観的に療育的支援のお話をする必要がある	

保護者への説明責任等	⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	78	22		その都度、内容の説明を行っている
	⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	78	22		必要に応じ、家庭訪問や事業所にて実施
	⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		22	78	父母会等での保護者同士の連携は、ほとんどない
	⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	89	11		大きな苦情はないが、迅速丁寧に対応している
	⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100			毎月通信の発行のほか、単発の活動や行事についてもその都度、印刷物や連絡帳等で発信している
	⑮	個人情報に十分注意しているか	89	11		守秘義務厳守
	⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	89	11		配慮しながらの対応
	⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	78	22		子ども食堂やびあねっと祭りなど、地域にチラシなどで周知
非常時等の対応	⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	78	22		スタッフミーティングや送迎時などに、印刷物にて周知する
	⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	78	22		年2回以上避難訓練実施
	⑳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	89	11		スタッフミーティングなどで研修実施
	㉑	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	44	56		他害行為がある子どもでも、身体拘束を行うまではいかないが、今後事案が発生した場合は、保護者の了解のもとデイサービス計画に記載していく
	㉒	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	78	11	11	現在は食物アレルギーのある子どもはいないが、おやつなどは手作りを優先し、配慮している
	㉓	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	78	11	11	ミーティングなどで注意喚起を行う